

〈本体商品の取付情報〉

年 式	型 式	車 種	取付商品のサイズ	本 体 の 取 付 方 法				注 意 事 項	オプション ※商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社カタログ、ホームページ等でご確認ください。 ※表示価格は希望小売価格（税込）です。
				他社部品手配	取付キット類				
					型 番	主な付属品	希望小売価格 （税込）		
R2/6～現在	P15系 RP15系 SNP15系	ワイド2D窓口付車 （オーディオレス）	W2D		KJ-N104DK④	 注3	6,600円	注4,5	 純正カメラコネクタ変換ケーブル （注9,10） ●KK-N501BCⓀ 2,200円
		注1	2D		KJ-N27DE④	 注6	5,500円	注7	
		D.OPの9インチナビ付車 注2	×	取付不可					

※フローティングモデルの適合情報については、弊社ホームページの「フローティングモデル適合情報」等でご確認ください。

- （注1） 全車標準はオーディオレス（ワイド2D窓口で純正ブラケット付）です。
- （注2） ディーラーオプションの日産オリジナルナビゲーション（9インチワイド大型モニター）付車の場合で、窓口が大きく、操作スイッチが一体化された専用クラスターを使用しているため取付不可。なお、元々装着されていた標準仕様に戻すことができれば取付可能になります（その場合の取付内容については、上段のワイド2D窓口付車の項を参照してください）。
- （注3） KJ-N104DK④はワイドモデル（フェイス幅200mmの商品）の取付けに使用する取付キットで、ダイレクト接続コネクタ（20P/12P イグニッション電源対応、ステアリングリモコン用ミニプラグ：KJ-F101SC相当）とアンテナ変換コネクタ（GT）が同梱されています。
- （注4） 「日産3」に対応した商品、または学習に対応した商品を取付ける場合、純正ステアリングリモコンの利用が可能になります。
- （注5） 電源ケーブル、ステアリングリモコンケーブルを同梱しているモデル（AVIC-CW912IV/RW722等）の場合、取付キット KJ-N28P④（希望小売価格4,180円、税込）も使用可能です。但し、ステアリングリモコンケーブルの接続には配線加工が必要です。なお、KJ-N104DK④同梱のダイレクト接続コネクタを使用する場合には配線加工は不要です。
- （注6） KJ-N27DE④には窓口左右の隙間を埋めるパネル、配線コネクタ（20P）、イグニッション電源、車速信号等を接続するためのコネクタ（12P）、アンテナ変換コネクタ（GT）等が同梱されています。
- （注7） ワイド2D窓口車用パネルを同梱しているFH-4600/3100等の場合、取付キット KJ-N28P④（希望小売価格4,180円、税込）を使用して取付けることも可能です。
- （注8） 純正ステアリングリモコンについては、「日産3」に対応した商品、または学習に対応した商品を取付ける場合、別売のステアリングリモコンケーブル KJ-F101SC④（希望小売価格1,650円、税込）を使用すれば車両側配線との接続は可能です。なお、ステアリングリモコンケーブルを同梱しているモデル（AVIC-CZ912IV/RZ722等）の場合は、その同梱ケーブルを配線加工しての接続も可能です。但し、商品別の対応状況他の詳細については、必ず取扱・取付説明書や弊社ホームページの「純正ステアリングリモコン適合情報」等でご確認ください。
- （注9） インテリジェントアラウンドビューモニター付車の場合、そのままでは映像信号を取り出すことはできません。別売の純正カメラコネクタ変換ケーブル KK-N501BC⑧を使用すれば、インテリジェントアラウンドビューモニターの映像信号をRCA端子で出力することが可能となります。
- （注10） インテリジェントアラウンドビューモニター付車でKK-N501BC⑧を使用する場合、[車両スイッチ簡易連動]がある楽ナビでは、ナビ同梱8Pコネクタの茶色線を延長加工し配線すれば、車両側スイッチを押すだけでカメラビュー表示と連動させることが可能になります。

〔取付キット類の主な付属品の記号〕

	ダイレクト接続コネクタ		アンテナ変換コネクタ（HFC）
	配線コネクタ （3電源、フロントスピーカー、リアスピーカー）		アンテナ変換コネクタ（GT）
	配線コネクタ （3電源、フロントスピーカー）		アンテナ変換コネクタ（CE）
	専用パネル、または窓口左右の隙間を埋めるパネル		ステアリングリモコンケーブル、または ステアリングリモコン用ミニプラグ

〔オプションの記号〕

	オプション欄にこの記号がある場合は、別売のステアリングリモコンアダプター、または別売のステアリングリモコンケーブルを使用することにより、車両側のステアリングリモコン用配線との接続が可能であることを表します。
---	---

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。

〈スピーカー商品の取付情報〉

タイプ	取付場所	注記 A	PRIS								注記 B	ボックス タイプ						ユニットタイプ						サテライト		
			TS- Z900PRS	TS- V174S	TS- C1740S C1740	TS- F1740SⅡ F1740Ⅱ	TS- C1640S C1640	TS- F1640SⅡ F1640Ⅱ					TS- X210 X170	TS- A6971F	TS- A1671F	TS- A1371F	TS- G1010F	TS- E1010	TS- STH1100	TS- STX510 STX510B	TS- STX710AS					
5ドア	Aピラー部 (純正TW部)	①			◇②③	◇②③																				
	Fドア	④	×	×	×	◇⑤⑦	×	×																		
	キット 使用	⑥⑦	⊠	⊠	□			□	□																	
	インナー バッフル	⑧	⊠	⊠	⊠	⊠	⊠	⊠	⊠																	
	Rドア	④	×	×	×	◇⑤⑨	×	×																		
	キット 使用	⑥	⊠⑨	⊠⑨	□⑨			□⑨	□⑨																	
	インナー バッフル	⑧	⊠⑨	⊠⑨	⊠⑨	⊠⑨	⊠⑨	⊠⑨	⊠⑨																	
Rシェルフ																										

※R2/6～現在車のフロントドアには、インナーバッフルUD-K622（希望小売価格13,200円、税込、2個1組）を使用して「TS-Z172PRS/TS-Z132PRS（スピーカー使用）」の取付けが可能です（注⑫参照）。

① 全車標準でAピラー部に純正トゥイーターが装着されています。なお、Aピラー部にはエアバッグ作動時の飛散防止のため特殊なクリップを使用して装着されており、Aピラー部トリムの取外し、取付けの際には専門知識が必要です。カーディーラーなどでの作業が必要となります。

② TS-C1740S・F1740SⅡに同梱のトゥイーターは、スピーカーに付属のトゥイーター用ブラケット（付属品：T9）を使用して、Aピラー部の純正トゥイータースペースに取付けが可能です。なお、トゥイーター用ブラケットは左右のクラック部を切取って使用します（取扱説明書の「C-4 スズキ車の場合」参照）。

③ ツイーター用ブラケットを車両側に取付ける際、そのままでは取付部の下側に貼り付けられている高反発のスポンジクッションに当たってネジ穴が合わないため、スポンジクッションを剥がすか、当たる部分を切取る必要があります。また、取付部のボスの補強リブに当たって浮いた状態になるため、当たる部分のリブ（計2ヶ所）を切取る必要があります。

④ 純正スピーカーは樹脂ブラケット一体型で、取付ネジ穴ピッチが大きいスピーカーです。

⑤ スピーカーに付属の樹脂ブラケットを使用して取付けます。

⑥ カースピーカー取付キットUD-K121（希望小売価格3,300円、税込、2個1組）使用で可。

⑦ ブラケットは鉄板の凸斜面にかからない方向で取付けます（2方向が取付可能です）。

⑧ インナーバッフルUD-K622（希望小売価格13,200円、税込、2個1組）/UD-K532（希望小売価格4,400円、税込、2個1組）使用で可。

⑨ スピーカーは端子を下以外の方向にして取付けます（端子を下方向にすると、17cmカスタムスピーカーはクランパーに当たり、16cmカスタムスピーカーは鉄板に当たるか非常に近くなります）。

⑩ 前方の凹内にスペース可。

⑪ 全車標準でSRSカーテンエアバッグシステムが装着されているため、サテライトスピーカーは取付不可。

⑫ TS-Z172PRSは端子を下以外の方向にして取付けます（端子を下方向にすると鉄板に当たります）。

〔PRIS/カスタムフィットスピーカーの記号〕

◎	取付可（スピーカーに付属のコネクター使用）	⊠	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
◇	取付可（スピーカーに付属のブラケット等使用）	⊠	取付可（別売の「カースピーカー取付キット」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
□	取付可（別売の「カースピーカー取付キット」使用）	⊠	取付可（別売の「インナーバッフル」を使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
⊠	取付可（別売の「インナーバッフル」使用）	×	取付不可
◎	取付可（配線加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明
◆	取付可（スピーカーに付属のブラケット等を使用し、配線加工が必要）		

〔ボックスタイプ/ユニットタイプスピーカーの記号〕

◎	取付可	⊠	取付可（別売の配線コードでの配線が必要）
●	取付可（鉄板加工が必要）	◆	取付可（スピーカーに付属のスピーカーを使用し、別売の配線コードでの配線が必要）
△	取付可（別売のUD-K125使用）	×	取付不可
▲	取付可（別売のUD-K125使用で、鉄板加工が必要）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

〔サテライトスピーカーの記号〕

○	取付可	(×)	取付不可（サードシート未使用時に限り取付可）
		×	取付不可
△	条件付きで取付可（注記参照）	空欄	非適合、または未調査で取付可否不明

※表の見方については、本サイトの取付詳細情報（PDF）の見方、および基礎知識や用語解説などをご確認ください。